

令和元年度季節的就労に係る実態調査集計報告

今冬の雇用保険特例受給資格者を対象に、ハローワーク千歳ご協力のもと「季節的就労に係る実態調査」を実施しました。収集データを基に、より実効性の高い通年雇用支援事業の策定や季労働者の雇用対策に活用することを目的としています。

調査方法は季節労働者の雇用保険特例一時金受給手続きの際に、ハローワーク千歳就職相談担当者から恵庭市在住の季節労働者に季節就労に係る実態調査票(以下「調査票」と言う。)の配布を行い、失業認定出頭の際にハローワーク千歳失業認定担当者が調査票を回収し、恵庭市通年雇用促進協議会が集計・分析を行いました。集計結果は以下の通りです。

令和元年度の恵庭市在住季節労働者626人のうち(ハローワーク千歳調べ)313人(以下「回答者」と言う。)の回答を得ることができた。回答率は令和元年度恵庭市在住の季節労働者全体の50.0%と半数に達した。前年度と比較して40歳代の回答率が僅かではあるが上昇に転じた。

① 回答者313人の年代別一覧 〈表01〉

	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	合計
男性		4	9	22	42	30	112	219
女性		1	5	17	28	19	24	94
全体		5	14	39	70	49	136	313

◆ 回答者の性別構成は、男性219/313人(70.0%)・女性94/313人(30.0%)であった(表01～04参照)。また、主就労業種は建設業・ゴルフ場・農業系の3業種で254/313人(81.2%)を占めた(図03参照)。

◆ 回答者のうち268/313人(85.6%)が従来からの反復回答者である。また、新規登録が45/313人(14.4%)いたが(表28参照)、うち10/45人(22.2%)が40歳代であった。幅広い年齢層に支援事業が認知され、若い年齢層の回答率の向上が実態に沿った支援事業となり、季節労働者の通年雇用化に繋がると考えられる。アンケート回答を参考にして支援事業の講習メニューや受講期間の見直しを行いながら、より若い年代の支援事業参加に向けた取り組みが課題である。

② 回答者313人の年代別季節就労先業種一覧 〈表02〉

季節就労業種	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	合計
建設業	2	6	19	21	11	45	104
ゴルフ場		5	8	26	20	47	106
農業・園芸・林業	2	2	4	9	9	18	44
その他業種 ※	1	1	8	14	9	26	59
全体	5	14	39	70	49	136	313

③ その他業種 ※ (59人中、男性は運輸・運送業、女性は販売業が主な就労業種であった) 〈表03〉

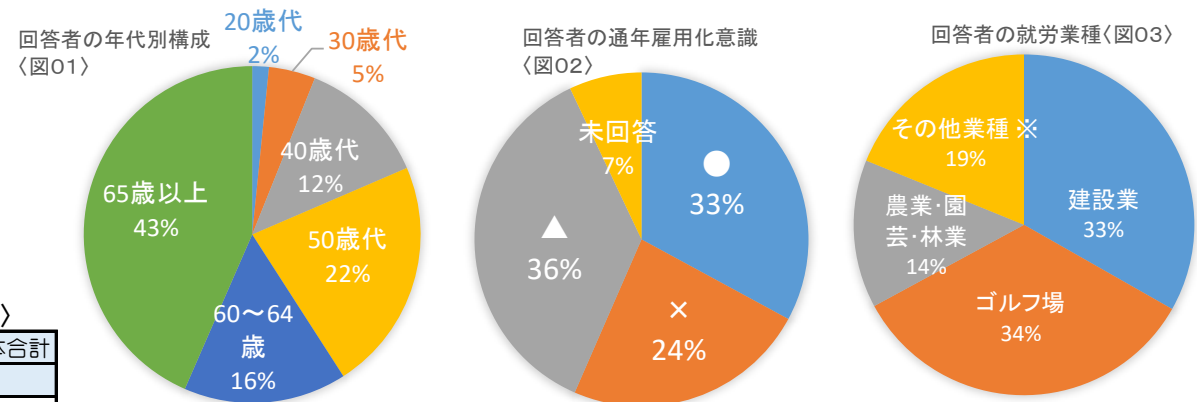
性別	公園管理	サービス業(ゴルフ場以外)	製造業(食品)	製造業(食品以外)	警備業	施設管理業	運輸運送業	販売業	保育士	合計
男性	8	2	1	2	15	3	7	3	3	44
女性		3			1			9	2	15
全体	8	5	1	2	16	3	7	12	5	59

④ 回答者313人の通年雇用化意識【業種別】 〈表04〉

季節就労業種	性別		●希望する、×希望しない、▲どちらでもない					合計
	男性	女性	●	×	▲	未回答		
建設業	99	5	46	20	30	8	104	
ゴルフ場	57	49	20	32	47	7	106	
農業・園芸・林業	19	25	11	13	17	3	44	
その他業種	44	15	26	9	20	4	59	
全体	219	94	103	74	114	22	313	

⑤ 回答者313人の通年雇用化意識【年代別】 〈表05〉

	希望する		希望しない		どちらとも言えない		未回答		性別合計		全体合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
20歳代	1				3	1			4	1	5
30歳代	5				4	5			9	5	14
40歳代	11	5	2	3	7	7	2	2	22	17	39
50歳代	18	10	7	8	16	8	1	2	42	28	70
60～64歳	15	4	6	4	6	8	3	3	30	19	49
65歳以上	29	5	35	9	41	8	7	2	112	24	136
全体	103		74		114		22		313		313



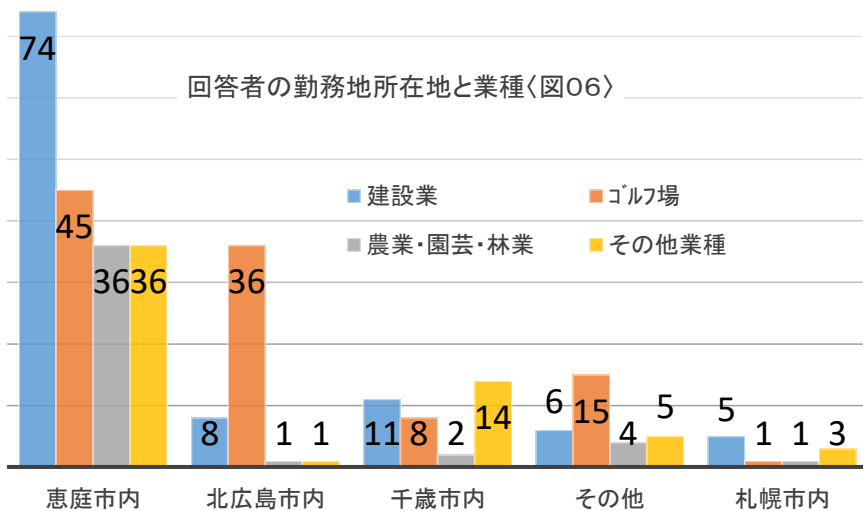
◆ ⑤ 通年雇用化意識調査【年代別】において、「通年雇用を希望する」回答者は103/313人(32.9%)であり、「どちらとも言えない」が114/313人(36.4%)であった(表04、05参照)。一方、年代別で通年雇用希望者を比較した場合、30歳代～64歳までが「どちらとも言えない」よりも「通年雇用を希望する」回答が多かった。回答者のうち65歳以上が136/313人(43.5%)に及ぶため、自身のライフスタイルに合わせた就労形態を選択した回答比率が高い結果となった。65歳以上の回答者のうち通年雇用化を希望する人は34/136人(25.0%)、通年雇用を希望しないのは44/136人(32.4%)であった(表05参照)。

令和元年度季節労働者実態調査研究事業

⑥ 回答者313人の季節就労勤務先所在地と業種 〈表06〉

勤務先所在地	男性	女性	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種	合計
恵庭市内	123	68	74	45	36	36	191
北広島市内	28	18	8	36	1	1	46
千歳市内	33	2	11	8	2	14	35
その他	26	4	6	15	4	5	30
札幌市内	9	1	5	1	1	3	10
未回答		1		1			1
全体	219	94	104	106	44	59	313

- ◆ ⑥回答者うち191/313人(61.0%)の、勤務先所在地が恵庭市内にあると回答した。また、令和元年度は恵庭市内のゴルフ場従事者の回答が前年度と比較して14人減少した。この影響により業種別比較では、ゴルフ場従事者は恵庭市内よりも市外従事者が上回り、61/106人(57.5%)となった(表06参照)。
- ◆ ⑦男性回答者219人のうち69/123人(56.1%)が恵庭市内の建設業に従事している(表07参照)。回答者は前年度より8名増加した。
- ◆ ⑧女性回答者94人のうちゴルフ場と農業関係で50/68人(73.5%)を占めた(表08参照)。前年度比較では女性回答者は11人減少する結果となった。
- ◆ 恵庭が勤務先所在地の回答者男女の業種別結果は(図07)のとおりであった。回答者313人中で比較しても、例年同様にゴルフ場と農業関係は女性の従事者が多く、恵庭市内は女性が季節就労がしやすい職種環境であると考えられる。

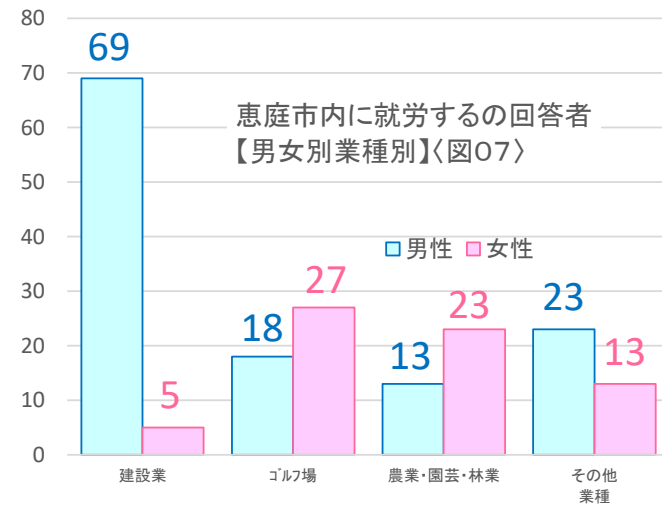
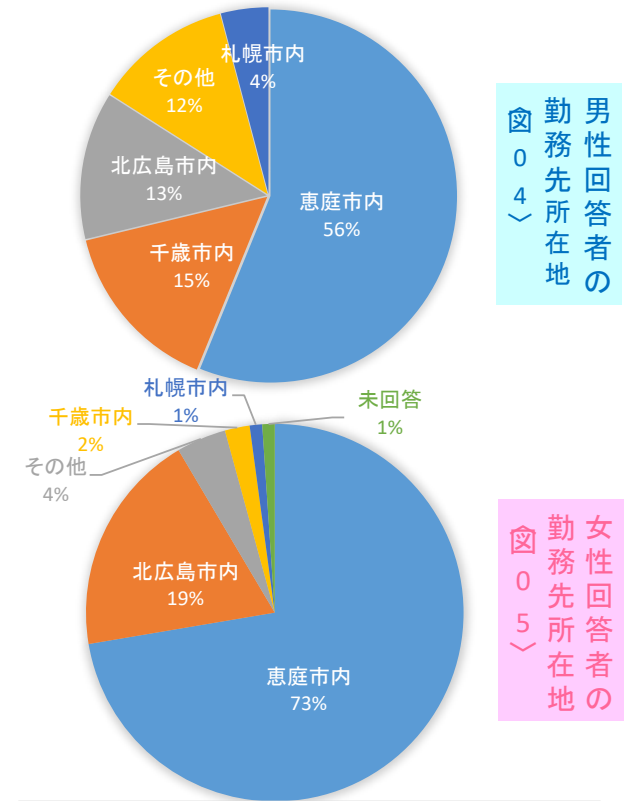


⑦ 男性回答者219人の季節就労勤務先所在地 〈表07〉

勤務先所在地	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種	男性計
恵庭市内	69	18	13	23	123
千歳市内	11	7	2	13	33
北広島市内	8	19		1	28
その他	6	12	3	5	26
札幌市内	5	1	1	2	9
未回答					
全体	99	57	19	44	219

⑧ 女性回答者94人の季節就労勤務先所在地 〈表08〉

勤務先所在地	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種	女性計
恵庭市内	5	27	23	13	68
北広島市内		17	1		18
その他		3	1		4
千歳市内		1		1	2
札幌市内				1	1
未回答		1			1
全体	5	49	25	15	94



- ◆ (図08)は男女をそれぞれ、就労業種の人数比率が高い業種を勤務先所在地で比較した。男性は建設業、女性はゴルフ場であった。
- ◆ ゴルフ場は、恵庭市以外にも就労場所が多く点在している。北広島市が36人、次いでその他15人は主に苫小牧方面で就労している結果であった(表06参照)。

令和元年度季節労働者実態調査研究事業

⑨ 回答者313人の冬期の過ごし方【離職月・性別・業種比較】

〈表09〉

離職月	性別		業種				冬期間の過ごし方						合計
	男性	女性	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種	就労する	支援事業に参加	冬期間の就職を探す	その他就活含む	就労はしない	未回答	
11月	90	77	10	102	25	30	44	3	40	20	43	17	167
12月	77	8	60	2	6	17	36	2	12	7	20	8	85
3月	19		15		2	2	7		2	2	4	4	19
2月	12	1	7		4	2	4		3	1	4	1	13
1月	9		6		1	2	3		3	2	1		9
10月	3	5		2	5	1	1		2	2	2	1	8
4月～9月	5	1	4		1	1	4				2		6
未回答	4	2	2			4	2				1	3	6
全体	219	94	104	106	44	59	101	5	62	34	77	34	313

◆ ⑨回答者313人の冬期間の過ごし方では、101/313人(32.3%)が冬期間に就労すると回答した。回答者のうち11月～12月に252/313人(80.5%)が離職すると回答した。うち、80/252人(31.7%)が就労すると回答した(表09参照)。短期就労者のうち同じ会社でアルバイトする人は51/101人(50.5%)、違う会社でアルバイトする人は44/101人(43.6%)であった(表10、11参照)。

⑩ 回答者313人の冬期の過ごし方【年齢別性別比較】

〈表10〉

冬期間の過ごし方	性別・年代別								年代合計
	性別	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	合計	
同じ会社でアルバイト	男性		1	7	12	4	22	46	51
	女性			1	2	1	1	5	
違う会社でアルバイト	男性	1		2	9	6	8	26	44
	女性		3	4	7	2	2	18	
本州で働く(出稼・出向)	男性		1	1	1	1		4	6
	女性		1	1				2	
就労はしない	男性	1	1	5	5	5	37	54	77
	女性			2	3	5	13	23	
冬期間の就職を探す	男性	2	1	3	9	6	18	39	62
	女性	1		5	12	3	2	23	
次年度に向けた就職活動	男性		4	1	2	2	13	22	28
	女性		1	2	1	2		6	
その他	男性		1		1		1	3	6
	女性				2	1		3	
資格取得、協議会の支援事業に参加などスキルアップ	男性			1			3	4	5
	女性					1	1	1	
未回答	男性			2	3	6	10	21	34
	女性			2	1	5	5	13	
性別合計	男性	4	9	22	42	30	112	219	313
	女性	1	5	17	28	19	24	94	
全体合計		5	14	39	70	49	136	313	

⑪ 回答者313人の冬期の就労者の就労先、他

〈表11〉

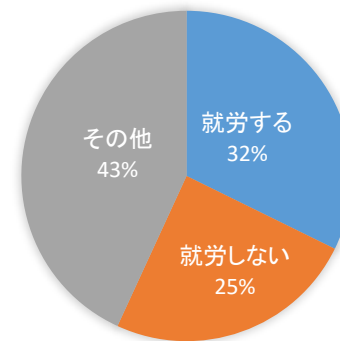
性別・業種	性別		業種				合計
	男性	女性	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種	
冬期間の過ごし方							
同じ会社でアルバイト	46	5	34	2	2	13	51
違う会社でアルバイト	26	18	5	31	6	2	44
本州で働く(出稼・出向)	4	2	4	2			6
就労はしない	54	23	22	28	14	13	77
冬期間の就職を探す	39	23	19	21	11	11	62
次年度に向けた就職活動	22	6	9	7	7	5	28
資格取得、協議会の支援事業に参加などスキルアップ	3	3	1	2		3	6
その他	4	1	1	2		2	5
未回答	21	13	9	11	4	10	34
全体	219	94	104	106	44	59	313

⑫ ⑪のまとめ

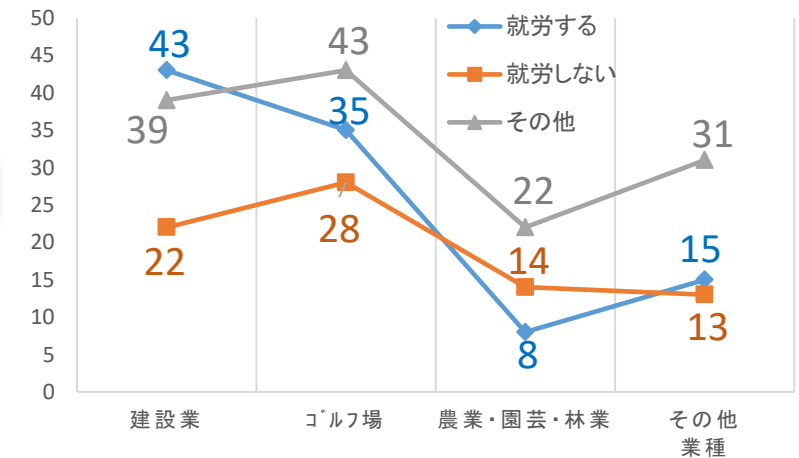
〈表12〉

性別・業種	性別		業種				合計
	男性	女性	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種	
冬期の過ごし方							
就労する	76	25	43	35	8	15	101
就労しない	54	23	22	28	14	13	77
その他	89	46	39	43	22	31	135
全体	219	94	104	106	44	59	313

回答者の冬期の過ごし方(図09)



回答者の冬期の過ごし方業種別人数(図10)



◆ 冬期短期就労者のうち、同じ会社でアルバイトの43/101人(42.6%)が建設従事者である。建設従事者以外での冬期就労先業種は、主に除雪作業・食品製造業であった(表13参照)。

令和元年度季節労働者実態調査研究事業

⑬ 冬期就労先に回答した男女の回答内訳

〈表13〉

冬期間の就労先業種	性別		業種				合計
	男性	女性	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種	
建設業（除雪作業を除く）	35	1	33	2	1		36
除雪作業	29	1	10	13	3	4	30
その他	20	9	4	11	3	11	29
食品製造業	1	12		10	3		13
物流・運送業	6	3		5		4	9
小売業	2	3	2	2	1		5
介護サービス事業	3	1	2		1	1	4
アルバイト業種不明	6	4	4	3	1	2	10
就職活動・資格取得等	48	26	22	21	15	16	74
就労しない	54	23	22	28	14	13	77
冬期過ごし方未回答者	15	11	5	11	2	8	26
全体	219	94	104	106	44	59	313

建設業（除雪作業を除く）

除雪作業

その他

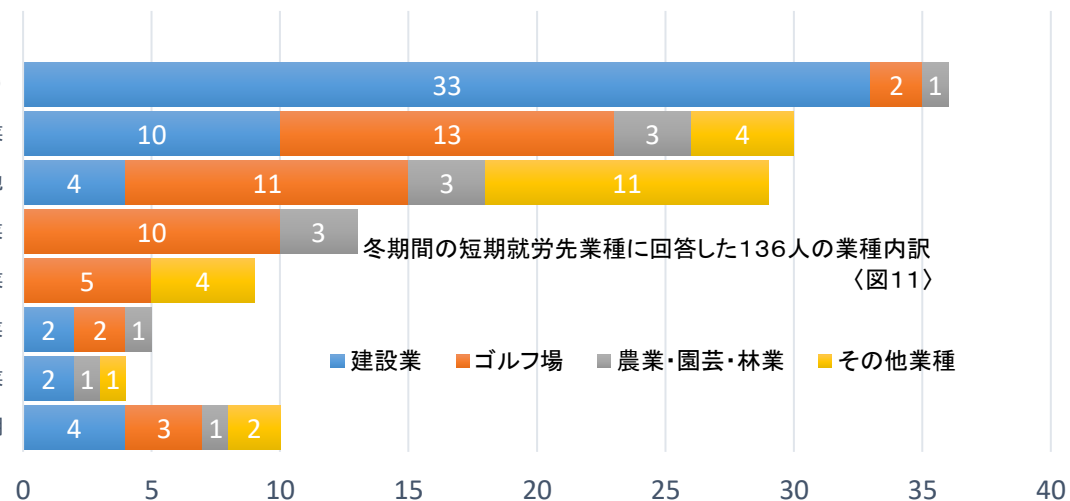
食品製造業

物流・運送業

小売業

介護サービス事業

アルバイト業種不明

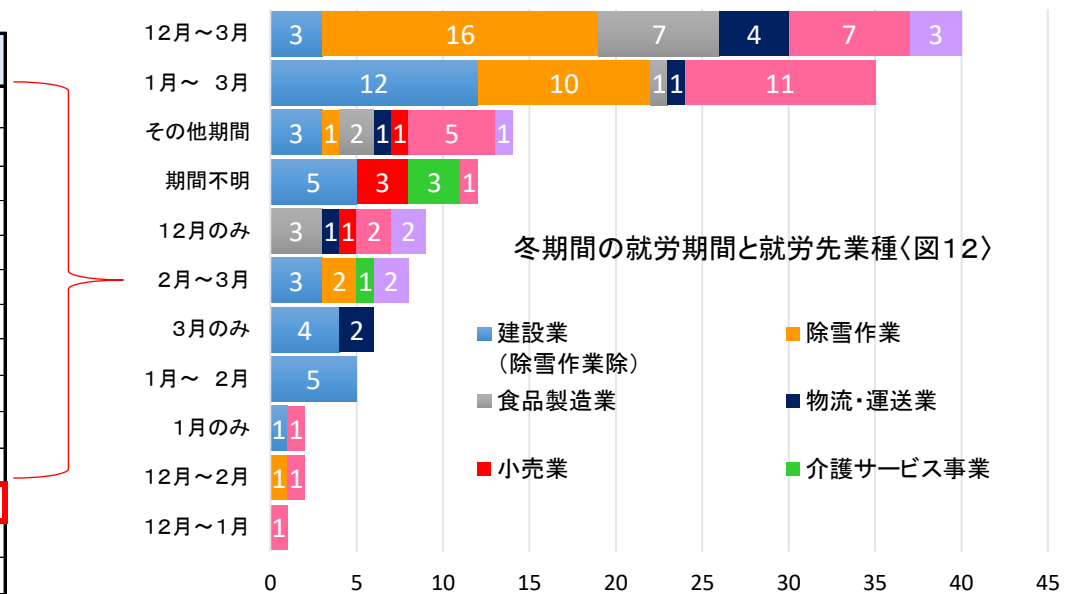


⑭ 冬期間就労者のアルバイト期間と就労業種

〈表14〉

期間/性別・業種	男	女	建設業 除雪以	除雪 作業	食品 製造業	物流 運送業	小売業	介護	その他 業種	業種 不明	合計	
12月～3月	28	12	3	16	7	4			7	3	40	
1月～3月	31	4	12	10	1	1			11		35	
その他期間	10	4	3	1	2	1	1		5	1	14	
期間不明	9	3	5				3	3	1		12	
12月のみ	2	7			3	1	1		2	2	9	
2月～3月	6	2	3	2				1		2	8	
3月のみ	6		4			2					6	
1月～2月	5		5								5	
1月のみ	2		1						1		2	
12月～2月	1	1		1					1		2	
12月～1月	1								1		1	
就労する人合計	101	33	36	30	13	9	5	4	29	8	134	
就労するアルバイト先不明	4	3	就労するがアルバイト業種不明						男性 4、女性 3			7
スキルアップ・就活等	46	26	冬期末就労の回答者						男性114、女性58			72
過ごし方未回答	15	10										25
就労しない	53	22										75

〈表14〉



◆ ⑨回答者313人の冬期の過ごし方で、101人が就労すると回答したが、⑬冬期間の就労業種、⑭アルバイト期間には35人増の136人が回答している(表13、14参照)。理由として考えられるのは、冬期間の就労先は決まっていなかったが、アンケート記入当時は就職活動中であり決定を見越した回答が含まれているものと考えられる。

◆ ⑫男性の建設業離職者で冬期間に就労すると回答した人は43人であった。平成30年度は19人が就労すると回答した。アンケートの回答に対して昨年度よりも協力的であると読み取れる(表12参照)。

◆ 冬期間の就労先業種のうち、建設業(除雪作業を除く)に就く冬期就労者33/36人(91.7%)の離職前の職種は建設従事者であった(図13参照)。建設業の通年操業の広がりが見て取れる。

◆ 令和元年度の冬期就労先業種として目立った点は、冬期間の就労先業種に介護事業所を選択する男性季節労働者が3名いたことである(表14参照)。

◆ ⑭冬期間の就労先業種「その他業種29名の内訳」として、スキー場・サービス業・警備業、施設管理業が挙げられた。



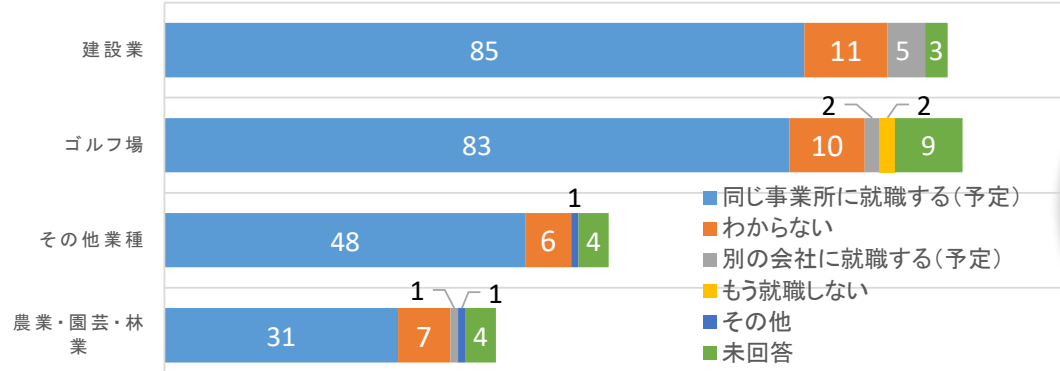
令和元年度季節労働者実態調査研究事業

⑮ 回答者313人の次年度の就労先【前年度の季節就労業種内訳】〈表15〉

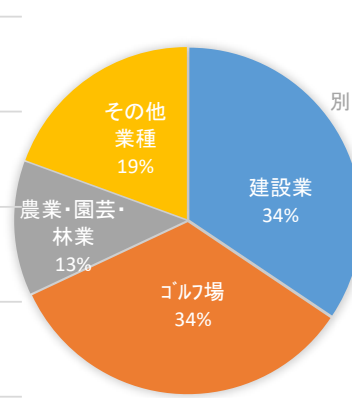
次年度の季節就労先	性別		業種				合計
	男性	女性	建設業	ゴルフ場	農業・園芸・林業	その他業種	
同じ事業所に就職する(予定)	176	71	85	83	31	48	247
わからない	26	8	11	10	7	6	34
別の会社に就職する(予定)	7	1	5	2	1		8
もう就職しない	1	1		2			2
その他	2				1	1	2
未回答	7	13	3	9	4	4	20
全体	219	94	104	106	44	59	313

- ◆ ⑮回答者313人の次年度の就労先については、令和元年度の就労業種(図01)とほぼ同じ比率を示した。しかし、次年度も同じ会社に就職すると回答した人は各業種共通して7割～8割程度であった。一方、「わからない」と回答した人は34人で回答者の1割程度であった。「わからない」は就労するか否かは判断はできないが、うち19/34人(55.9%)が60歳以上であった(表16参照)。
- ◆ ⑯回答者313人の通年雇用化意識が高い年齢層は、男性回答者では40歳代が11/22人、60歳～64歳が15/30人と共に50.0%であった。一方、女性回答者においては唯一50歳代が「通年雇用希望」が「どちらでもない」を2ポイント上回った。

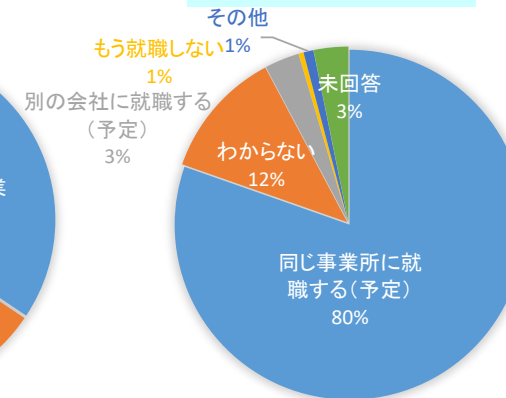
次年度の就労先について【業種別】〈図13〉



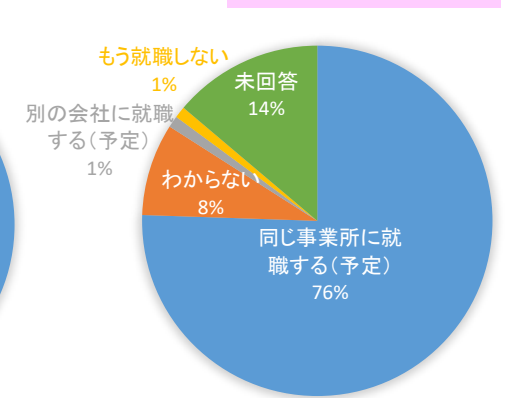
同じ事業所に就職する回答者【業種別】〈図14〉



次年度の就労先について【男性回答者比率】〈図15〉



次年度の就労先について【女性回答者比率】〈図16〉



⑯ 回答者313人の次年度の就労先【年代別・性別表】

次年度の季節就労先年代別回答	同じ事業所に就職する(予定)		別の会社に就職する(予定)		もう就職しない		わからない		その他		未回答		性別計		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
20歳代	2	1					1		1				4	1	5
30歳代	5	3	1				3	2					9	5	14
40歳代	19	13					2	3			1	1	22	17	39
50歳代	37	24	1				4					4	42	28	70
60～64歳	22	12	1	1			6	1			1	5	30	19	49
65歳以上	91	18	4		1	1	10	2	1		5	3	112	24	136
性別合計	176	71	7	1	1	1	26	8	2		7	13	219	94	313
全体	247		8		2		34		2		20		313		313

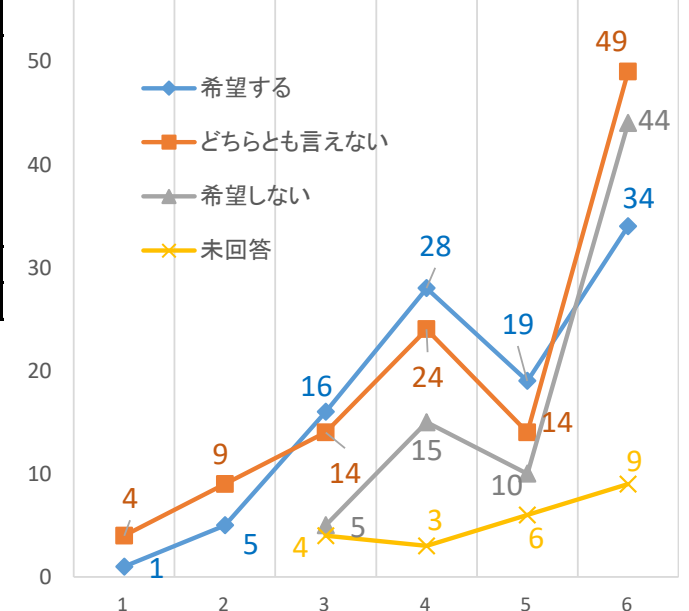
〈表16〉

⑰ 回答者313人の通年雇用化に対する意識【性別・年代別】

通年雇用化意識	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳～64歳		65歳以上		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
希望する	1		5		11	5	18	10	15	4	29	5	103
どちらとも言えない	3	1	4	5	7	7	16	8	6	8	41	8	114
希望しない					2	3	7	8	6	4	35	9	74
未回答					2	2	1	2	3	3	7	2	22
全体	4	1	9	5	22	17	42	28	30	19	112	24	313

〈表17〉

回答者の通年雇用化意識【年代別】〈図17〉



令和元年度季節労働者実態調査研究事業

⑱ 回答者が支持した希望する支援事業（講習）と人数【建設系関連系】 〈表18〉

建設関連技能講習 希望調査※複数回答	性別回答		●希望する、×希望しない、▲どちらでもない					合計
	男性	女性	● 希望率	×	▲	未回答		
フォークリフト	27	5	15 46.9%	5	12		32	
小型移動式クレーン	21	1	11 50.0%	2	9		22	
車両系/整地	19	1	13 65.0%	1	6		20	
刈払機取扱い	18	1	9 47.4%	2	8		19	
玉掛け技能	17	1	9 50.0%	2	6	1	18	
高所作業車	16		9 56.3%	2	5		16	
車両系/解体	14	1	9 60.0%	1	4	1	15	
ショベルローダー	10		5 50.0%		5		10	
ガス溶接	9	1	7 70.0%	1	2		10	
不整地運搬車	9		6 66.7%		3		9	
伐木取扱	9		7 77.8%	1	1		9	
2級建築施工	8		5 62.5%		3		8	
足場組立作業主任	7		5 71.4%		2		7	
アーク溶接	5	1	4 66.7%	1	1		6	
ヘルメット装着作業特別教育	6		5 83.3%	1			6	
地山掘削作業主任	6		3 50.0%	1	2		6	
職長・案衛管理	5		2 40.0%	1	2		5	
コンクリート解体作業主任	4		3 75.0%	1			4	
ローラー運転	3		3 100.0%				3	
2級土木施工	3		1 33.3%		2		3	
有機溶剤取扱者	2		2 100.0%				2	
足場組立解体特別教育	2		2 100.0%				2	
型枠支保工作業主任	2		2 100.0%				2	
建設機械施工	2		2 100.0%				2	
はい作業主任	1		1 100.0%				1	
その他	1		1 100.0%				1	
未回答	113	87	43	58	79	20	157	

◆ 講習を4つのカテゴリーに分けた(表18～22参照)。男性回答者が219/313人(70.0%)を占めるため(表01参照)、建設系講習希望の回答率が高い。講習に並列して通年雇用化意識を明示した。講習を希望する回答者は通年雇用化意識が高いことも見て取れる(表18参照)。

◆ 表18～表22の赤字は未回答者数である。女性回答者が少ないため講習に対する回答が極め少ない結果となった。しかし、⑳のその他の講習では女性76人(表21参照)が回答した。今後は更に通年雇用化に有効な講習メニューの準備が課題である。

※ 1名が複数事業を希望しているため回答者313人(表01参照)より多くカウントされている。

㉑ 回答者が支持した支援事業（講習）と人数【業務用自動車検挙取得】 〈表19〉

業務用自動車希望講習 ※複数回答	性別回答		●希望する、×希望しない、▲どちらでもない					合計
	男性	女性	● 希望率	×	▲	未回答		
大型特殊	20		8 40.0%	1	11		20	
大型運転	19	1	10 50.0%		10		20	
けん引	12	1	7 53.8%	2	4		13	
大型二種	10		7 70.0%		3		10	
中型運転	7	1	3 37.5%	1	4		8	
普通二種	5	2	3 42.9%	1	2	1	7	
中型二種		1	0 0.0%		1		1	
未回答	167	90	75 29.2%	69	92	21	257	

㉒ 回答者が支持した支援事業（講習）と人数【建設系関連系】 〈表20〉

施設管理関連希望講習 ※複数回答	性別回答		●希望する、×希望しない、▲どちらでもない					合計
	男性	女性	● 希望率	×	▲	未回答		
危険物取扱者乙四	25	1	16 61.5%	2	8		26	
ボイラー取扱技能	14	2	8 50.0%	3	5		16	
電気工事士	1	1	1 50.0%		1		2	
未回答	182	91	79 28.9%	70	102	22	273	

㉓ 回答者が支持した支援事業（講習）と人数【その他講習】 〈表21〉

その他希望講習 ※複数回答	性別回答		●希望する、×希望しない、▲どちらでもない					合計
	男性	女性	● 希望率	×	▲	未回答		
パソコン初心者講習	27	18	16 35.6%	7	21	1	45	
ドローン講習	35	9	23 52.3%	5	15	1	44	
フラワーアレンジメント講習	1	17	5 27.8%	4	8	1	18	
ラッピング講習	0	15	4 26.7%	1	10		15	
接客外国語講座	0	11	3 27.3%	2	5	1	11	
外国人接客接遇講習	3	5	3 37.5%	1	4		8	
就職支援セミナー		1			1		1	
合同企業説明会	1		1				1	
その他								
未回答	167	50	68	56	74	19	217	

㉔ 回答者が支持した支援事業（講習）と人数【介護系】 〈表22〉

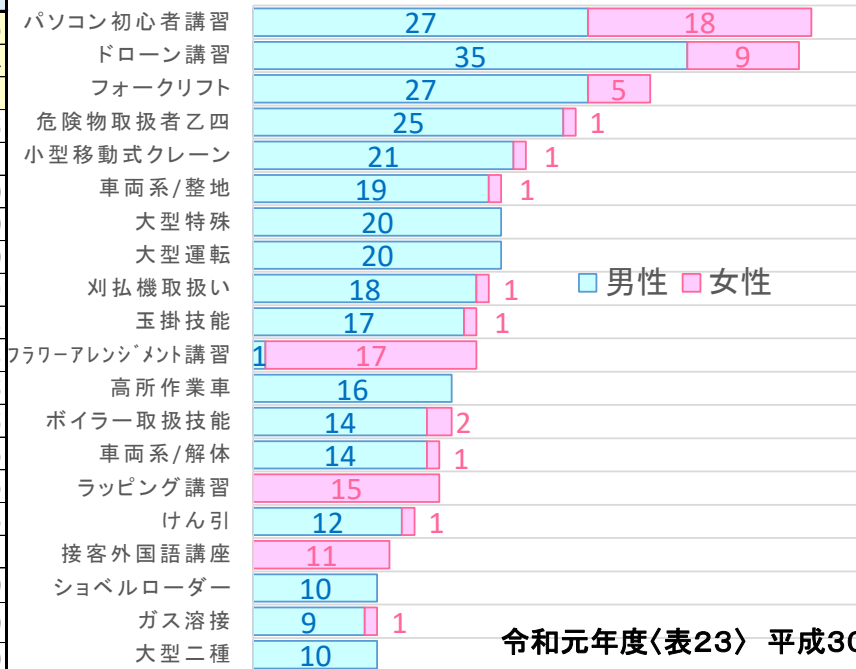
介護関連技能希望講習 ※複数回答	性別回答		●希望する、×希望しない、▲どちらでもない					合計
	男性	女性	● 希望率	×	▲	未回答		
介護職員初任者	3	3	3 50.0%		2	1	6	
福祉有償運送運転者	4	1	3 60.0%	1	1		5	
全身性移動介護従業者								
医療・介護おさらい		1		1			1	
未回答	213	89	98 32.5%	72	111	21	302	

令和元年度季節労働者実態調査研究事業

㉓ 令和元年度回答者10人以上が支持した支援事業(講習) ※複数回答 (表23)

登録季節労働者が希望する上位講習	男女別		合計
	男性	女性	
パソコン初心者講習	27	18	45
ドローン講習	35	9	44
フォークリフト	27	5	32
危険物取扱者乙四	25	1	26
小型移動式クレーン	21	1	22
車両系/整地	19	1	20
大型特殊	20		20
大型運転	19	1	20
刈払機取扱い	18	1	19
玉掛け技能	17	1	18
フラワーアレンジメント講習	1	17	18
高所作業車	16		16
ボイラー取扱技能	14	2	16
車両系/解体	14	1	15
ラッピング講習		15	15
けん引	12	1	13
接客外国語講座		11	11
ショベルローダー	10		10
ガス溶接	9	1	10
大型二種	10		10

回答者10人以上が支持した支援事業(講習)〈図18〉



㉔ 男性回答者10名以上が希望した支援事業(講習) ※複数回答 (表24)

男性が希望する上位講習	人数
ドローン講習	35
フォークリフト	27
パソコン初心者講習	27
危険物取扱者乙四	25
小型移動式クレーン	21
大型特殊	20
車両系/整地	19
大型運転	19
刈払機取扱い	18
玉掛け技能	17
高所作業車	16
車両系/解体	14
ボイラー取扱技能	14
けん引	12
ショベルローダー	10
大型二種	10

㉕ 女性回答者が希望した支援事業(講習)上位10位 ※複数回答 (表25)

女性が希望する上位講習	人数
パソコン初心者講習	18
フラワーアレンジメント講習	17
ラッピング講習	15
接客外国語講座	11
ドローン講習	9
フォークリフト	5
外国人接客接客講習	5
介護職員初任者	3
普通二種	2
ボイラー取扱技能	2

令和元年度(表23) 平成30年度(表26)前年度比較 ※ 回答者は男性219人・女性94人(表01参照)

平成30年度回答者10人以上が支持した支援事業 ※複数回答 (表26) 参考

登録季節労働者が希望する上位講習	性別		合計
	男性	女性	
パソコン初心者講習	17	18	35
フォークリフト	20	3	23
大型特殊	17	1	18
危険物取扱者乙四	16	2	18
ドローン技能講習	16	2	18
車両系/整地	13	3	16
刈払機取扱い	13	3	16
小型移動式クレーン	13	1	14
大型運転	12	2	14
玉掛け技能	11	1	12
高所作業車	11	1	12
ラッピング講習		12	12
車両系/解体	11		11
伐木取扱	11		11
ショベルローダー	10		10

- ◆ 〈表23〉は回答者10人以上が希望する講習である。平成30年度と同様に、令和元年度の第一位はパソコン講習であった。
- ◆ 男性回答者の希望講習第1位はドローン講習で35/219人(16.0%)が希望するとの回答結果であった。昨年度の希望者16人から19人増加し、関心の高さが伺える。
- ◆ 女性回答者は94人と少ないが、ラッピング講習は15/94人(16.0%)が希望した。平成30年度から実施しているが、前年度と比較して3名増加しており、受講申込者数も安定した講習である。令和元年度は多少ではあるが技能のレベルアップを図って実施した。
- ◆ フォークリフト運転技能は就職に有効な技能講習であり、回答者のうち32/313人(10.2%)が講習を希望した。平成30年度の受講希望者23名から9名増加した。受講希望があるものの講習期間が複数日であるため女性は受講に消極的である。

㉖ 回答者の短期特例非保険加入状況(表27)

加入	男性	女性	合計
初めて	8	4	12
初めてではない	193	81	274
未回答	18	9	27
全体	219	94	313

㉗ 新規登録者【年齢・性別】(表28)

	男性	女性	性別計
20歳代	2		2
30歳代	3	3	6
40歳代	8	2	10
50歳代	4	2	6
60~64歳	4	2	6
65歳以上	11	4	15
全体	32	13	45

㉘ 回答者の回答履歴(表29)

回答頻度	男性	女性	合計	構成比
4回以上	113	41	154	49.2%
3回	36	20	56	17.9%
2回	38	20	58	18.5%
新規登録	32	13	45	14.4%
合計	219	94	313	